

町会長連合会だより



唐沢山…藤原秀郷公の居城趾といわれる、深い歴史を持つ山

令和7年9月1日

第33号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集部会

令和7年度佐野市町会長連合会総会開催！



令和7年5月14日(水)、田沼中央公民館にて「令和7年度佐野市町会長連合会総会」を開催しました。

総会には、136人の町会長が出席し、「前年度の事業報告と決算」「今年度の事業計画と予算」「会則及び規程の改正」「連合会役員の改選」についての7議案が提出され、慎重審議の上、全議案が承認されました。

町会長連合会会長として
二期目を迎えて
『町会消滅を考える』

佐野市町会長連合会会長
若松町(城東)町会長
厚木 健志



皆さまのご協力のおかげで無事二期目が終了したことに對して、深く感謝申し上げます。

さて、二期目の2年間で強く感じたことは『少子高齢化・人口減少』『高齢者の一人暮らし』が、想像以上に佐野市では進んでいることです。

私は、連合会の会議等で『2の壁』の話をします。これは、

一世帯当たり何人住んでいるかということです。令和6年度のデータですが、佐野市は2.15人/世帯で、栃木県の平均が2.21人/世帯と、佐野市は県内4番目に一世帯当たりの人数が少ないのです。また、佐野市は、2050年には高齢化率が40%を超える予測です。これらの数値を見て、どのように町会運営をしていかなければならないのか考えさせられます。

『従来と同じ』では『町会は崩壊・消滅』します。各町会が本格的に町会の存続を考えなければなりません。

連合会としては、役員の成り手不足等対策として、町会長の仕事の軽減化を検討していかなければなりません。今後、市に對し、町会への依頼業務の見直し等について、担当部署との話し合いを行い、町会の実情を理解していただくよう進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



佐野市町会長連合会情報は「佐野市町会長連合会 Facebook」で発信しています。ご覧ください。

連合会新役員紹介



副会長

浅沼町町会長

坂井 正巳

目を迎えました。この度、連合会副会長を務めさせていただくことになりました。各町会が抱える課題解決のため、一緒に考えていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



副会長

下多田町町会長

尾崎 始

社会が大きく変貌し、町会はいくつかの課題に直面しています。副会長として、今後の町会運営のより良い在り方を模索し続けることが大切なことと考えています。



副会長

片倉町町会長

大屋 吉久

吉久です。平成24年以来的の町会長で、今回は佐野市町会長連合会副会長という責務を負うことになりました。微力ですが精一杯頑張ります、よろしくお願ひいたします。



会計

植野町(泉)町町会長

武藤 純子

計に選任されました植野町(泉)町会長の武藤です。右も左も分からない私を支えて下さった町会の皆さま、先輩方のご恩に報いるため頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

町会長連合会
新役員「市長面会」

5月29日(木)、佐野市町会長連

合会の新役員が市役所を訪問し、金子市長に、町会長への支援と連合会事業への協力をお願いしました。



厚木会長から「市からの依頼業務が多く、町会長の負担が増している。依頼される担当部署と協議する場を設けてほしい」との要請に対して、金子市長から「市と町会が意見交換を行う場は必要であり、町会長連合会が仲立ちとなつてほしい。今後い。今後も市と町会の良好な協力体制を進めていきたい」とご返答いただきました。

新春祝賀会・表彰

1月17日(金)
新春祝賀会並びに佐野市
町会長連合会表彰
(受賞者23名)



令和6年度の事業報告(概要)

視 察 研 修

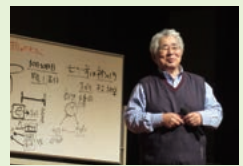
7月3日(水)、町会加入率が9割を超える福島県会津若松市区長会を視察しました。

研修会では、町会加入促進について意見交換を行いました。



町会長・町会役員研修会

10月23日(水)
講師:茨城県生涯学習社会教育研究会会長 長谷川幸介氏 演題「人間の幸せの魔法と地域社会」



行政と町会について

行政と町会との協働体制がとれるように、各行政機関及び地域担当職員*と共に課題に取り組んでまいります。

※地域担当職員とは、市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、地域に配置された市職員をいいます。

町会長連合会
令和7年度の主な事業

会報の作成

「会報編集部会」において、町会に関する情報をお知らせする会報誌を作成し、年2回発行します。



町会課題の解決

「地域づくり検討部会」において、町会課題の調整研究及び解決策の検討を行います。



その他として

- 全市一斉清掃
- 町会長及び町会役員を対象とした研修
- 町会活動永年表彰
- 福祉、都市計画、教育等への委員参画
- 栃木県自治会連合会事業への参画
- 市が主催する各種事業への参画

植野町(泉)町会 新公民館完成

老朽化によって建て替えられていた植野町(泉)町会の新公民館が完成し、様々な町会行事に利用されています。



スロープと手すりを設け、段差をなくしたバリアフリーな新公民館

新公民館は、入り口や通路の手すり、段差のない床、車いすでも利用できるトイレを設け、高齢者や障がいをお持ちの方にも優しく使いやすい、バリアフリーが特徴の公民館です。

武藤純子町会長は「新公民館は、明るく、だれにでも使いやすい公民館を目指しました。特に女性の使い勝手を考慮したので、多くの女性会



餅つき大会、会議室でつくった餅をあんこで包む女性部の皆さん

員に利用していただき、女性の活躍を支える公民館になってほしい」と新公民館に込めた思いを話してくれました。

一ノ瀬稲荷神社 「初午祭」開催される

3月8日(土)・9日(日)、一ノ瀬稲荷神社で伝統の「初午祭」が開催され、ご参拝と立ち並ぶ出店を楽しまれる大勢の客さんで賑わいました。



江戸時代より続く「初午祭」



様々な出店を楽しめる方々

同祭は、江戸時代初期から続く伝統行事で、田沼地区町会長連絡協議会9町会(下町、角町、仲町、田沼町、上町、本町、上町東、上町西、下町、田沼、瓦町、原町)と山越町会の計10町会が「田沼初午祭交通安全実行委員会」に参加し、地域の伝統行事を大切に支えられています。

米山南町町会 「花いっぱい活動」

住民が四季折々の花を楽しむ公園にと、米山南町町会では市の都市公園「米山公園」の一部を借用して花壇を作り、花を植える「花いっぱい活動」を行っています。



芝生広場花壇を彩る花々

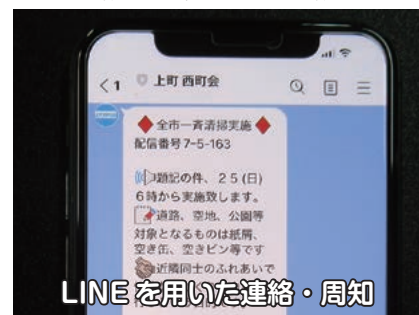


グラント中央花壇に咲く花々

この遊び場として親しまれています。皆さんぜひお立ち寄り下さい」と話してくれました。

上町西町会 「町会のデジタル化」

上町西町会では町内情報を迅速かつ効率的に発信し、住民との情報共有を図るため、LINEを用いた町会のデジタル化に取り組みられています。



LINEを用いた連絡・周知

市の「市民活動モデル町会支援事業」にも選定されている同事業。

安部賢二町会長は「LINEによる情報発信は、紙による回覧板と異なり迅速で、利用者から継続してほしいとの要望を多くいただき、励みになっています。今後も、町内のデジ



事業報告会で取組成果を発表

タル化を加速継続すると共に、他町会からの問い合わせについても協力したいと考えています」と話してくれました。

若松町（城西）町会 「おたっしやくらぶ」

若松町

町会では、住民同士のつながりを深め、安全で安心して暮らせる城西を目指す



不法投棄ごみを掃除する「城西見守り隊」の皆さん

「城西見守り隊」活動として『城西おたっしやくらぶ』事業に取り組みれています。

市の「市民活動モデル町会支援事業」にも選定されている同事業。

井上哲男町会長は「今後も『城西おたっしやくらぶ事業』を推進して、住民同士のつながりを深め、安全で安心して暮らせる城西を目指していきたい」と抱負を話してくれました。



事業の一つ「親子でミニ門松づくり&クリスマス会」を楽しむ参加者

下秋山町会 「花いっぱい運動」

下秋山

町会では、町内の県道沿いにフラワーボックスを設けて、季節ごとの

花を植えて景観を良くし、人の心を潤す「花いっぱい運動」に取り組みれています。

市の「市民活動モデル町会支援事業」にも選定されている同事業。

戸叶光一町会長は「年間を通して美しい花々が地域住民の心を潤し、花の管理を任せた高齢者にも、生きがいを持ってもらうことができた。

地域の交流をより一層深める『花いっぱい運動』を今後も継続していきたい」と抱負を話してくれました。



花を管理する地域の高齢者



町内に設置されたフラワーボックス

令和7年度 「全市一斉清掃」実施

5月25日

（日）、令和7年度全市一斉清掃が実施され、小雨舞う天気にもかかわらず、早

朝から多くの住民の方々が清掃に励まれました。

今回紹介する並木町（堀之内）町会では約90人、出流原町町会では約100人の住民の方々が参加し、道

路や公園、小学校、集会所などの町内公共施設のごみ拾いを行いました。

並木町（堀之内）の戸叶一町会長も出流原町の長竹治町会長も、「この一斉清掃は住民同士の絆を深めることを目的に実施している。今後も、

一斉清掃や道路愛護活動など環境整備を

図り、住み良い町会にしていきたい」と共に抱負を話してくれました。



道路清掃を行う出流原町町会の皆さん



旗川小周りの清掃を行う並木町（堀之内）町会の皆さん

編集後記

◇町会は、住民の皆さんと共に「災害時の対応」や隣近所との「絆」づくり、いざという時の「相互扶助」など地域のために様々な活動を行っている団体です。町会活動に対してご理解いただき、町会への加入と町会活動への積極的な参加をお願いします。

◇今年度も、市内167町会の中、新しく67人の町会長が就任されました。今後のご活躍を祈念します。また、町会長連合会も役員改選が行われ、2ページ案内の通りの皆さまが選出されました。よろしく願います。

◇今号から新しいメンバーで編集に取り組んでおります、「からさわ第33号」はいかがでしたでしょうか。お読みになった感想やご意見をお寄せください。また、掲載してもらいたい内容や皆さまの町会での活動状況などありましたらお寄せ願います。（田村記）

発行者 佐野市町会長連合会

〒327-1850

栃木県佐野市高砂町1番地

佐野市役所5階

☎0283-18517328

発行責任者

編集部長

編集部会長

編集部会員

厚木 健志

田村 僚二

片柳 孝夫

戸室 俊夫

高橋 和彦

坂井 正巳

岡田 光之

津久井 正夫

相良 周作

武藤 純子

▲佐野市町会長連合会は市内全域167町会で組織されています。



佐野市町会長連合会情報は「佐野市町会長連合会 Facebook」で発信しています。ご覧ください。